中野区次世代育成委員

子育ての輪をつなぐ人

次世代育成委員をご存じですか。地域の子育て・子育ちを支援するネットワークの要となり、家庭・地域・学校の連携を促進します。各中学校区ごとに選出され、現在27人が活動中。4月に開校した明和中校区の二人に話を聞きました。

次世代育成委員について詳しくは

地域子ども施設調整係／5階
☎(3228)8884
FAX(3228)5659

黒木さん　鷺宮在住

委員歴約10年。「地域の方が自分の子どもに温かい言葉を掛けてくれた恩返しがしたい」と引き受けた

大﨑さん　若宮在住

自身も若宮で育ち、昨年4月から委員に。子どもの小学校のPTA副会長を2年間務め、委員に推薦された

委員の活動内容は

大﨑　月1回の事務局会議の他に、定期的に地区懇談会を開催し、ニュースを発行しています。以前別々の校区だった明和中校区は、昨年度から一つの校区として活動しています。統合前の合同地区懇談会を通して、お互いの思いを知り認め合うことができました。

黒木　学校などの活動に必要な人材を探すことが、委員の仕事の一つです。私はボランティアを募り、放課後や夏休み、鷺宮小学校の図書室で寺子屋（自習室）を開く活動を学校と連携して行っていました。昨年度はできませんでしたが、8年続けてきたので再開したいですね。

活動のやりがいを教えてください

黒木　子どもの成長を間近で見られることにやりがいを感じます。前述の寺子屋で知り合ったお子さんが高校生になって、近所で声を掛けてくれたことがありました。覚えていてくれたんだな、と感慨深かったですね。

大﨑　昨年は新型コロナの影響で、恒例行事のほとんどが中止になってしまいました。そんな中でも、時間差で集合・解散するなどの工夫をして11月にウォークラリーを開催できたことはうれしかったですね。たくさんの子と顔見知りになりました。

今後の抱負やみなさんへのメッセージをお願いします

大﨑　制約がある中でも、新しい形で子どもたちが楽しめるイベントを開きたいです。

黒木　次世代育成委員の仕事は、一人ではできないんです。学校や児童館、主任児童委員、地域の方などと関係をつなぐことが大切な役割。知り合いが増え、地域の方との関係が深まるほど私たちにできることが増えていきます。みなさんに気軽に声を掛けてもらえたらうれしいです。

Q. 次世代育成委員はどのように選ばれるの？

A. 小・中学校の校長やPTA代表などがメンバーの候補者推薦会から推薦を受けて選出。3年任期の特別職の非常勤職員として区長が委嘱します

Q. 地区懇談会ってなに？

A. 次世代育成委員が児童館長、キッズ・プラザ所長とともに事務局を担う、中学校区ごとの会議。小・中学校や町会、子ども施設などが参加します

地域や児童館の催しをお手伝い

こんな活動もしています

次世代育成委員は、地域のさまざまな催しや活動に関わっています。
今回は、明和中校区（旧第四・第八中校区）で行われた昨年度の活動の一部を紹介します。

ウォークラリー

11月3日、大和地区委員会主催のウォークラリーには、子ども・大人合わせて75人が参加。大和区民活動センターを出発し、暗号の「宇宙文字」を探しながら鷺南公園や啓明公園などを回りました。途中、10円玉を使って公衆電話で電話をかける体験も。

子どもたちからは、「初めての公衆電話が難しかった」「普段行かない地域のことが分かってよかった」という声が寄せられました。

「宇宙文字」見つけた！

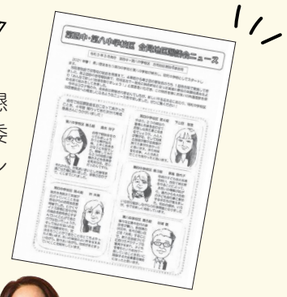
火おこし体験

12月19日に若宮児童館で開催した火おこし体験。ひもを使って着火に挑戦しました。当日は3グループ全てで着火に成功。保護者からは、「普段体験できないことができた」と喜びの感想がありました。

▲同校区の委員が火おこしに協力

ニュースの発行

3月に発行した合同地区懇談会ニュース。次世代育成委員の方などを似顔絵とコメントで紹介しました。



気軽に声を掛けてください

「未来ある子どもの育ちを地域で支えるまち」を実現するために

区は、全ての子どもと子育て家庭が個々の状況に合わせて、地域の中で安心して子育て・子育ちができるための施策を進めています。

その一環として、地域の子ども施設を再編。各施設の連携を強化し、子どもの安全確保や子育て家庭の交流・相談の場の創出などを更に充実させます。

地域子ども施設計画係／5階
☎(3228)5603　FAX(3228)5659

今後5年間の子ども施設整備の展望

キッズ・プラザ	全区立小学校に開設予定。今後5年間で4か所に整備	連携力強化
学童クラブ	キッズ・プラザの整備や児童館施設の転用などにより拡充	連携力強化
児童館	見守り機能などを強化し、各中学校区に1館配置	連携力強化